

御宿台

Onjukudai-ku News

2006 秋号

No.26

区運営委員会編集・平成18年10月1日発行



月の沙漠の海開きで汐を踏む

写真と文：岡嶋 和幸(109-06)

9月3日の防災訓練には、多数のご参加をいただきありがとうございました。

これを機会に、防災意識の高まりと、住民間のコミュニケーションが強化されることを期待します。特に、御宿台においてはサークル活動など特定の目的についての集合体は存在するものの、統制のとれた「組織」的な意識は希薄でありました。防災対策においては、近隣住民同士の助け合いが行動の基本であり、その基盤は日常のコミュニケーションから培われるものです。そして、そこから発信される情報の収集・伝達がスムーズにおこなわれるような体制を構築していかねばなりません。定住世帯の増加にともない、今後の御宿台における「組織」の必要性もさらに増していくことでしょう。

閑話休題。先日、広報誌についてのご意見を綴ったお手紙をいただきました。

広報誌のマンネリ化、記事の内容に対する厳しい指摘と、今後の広報誌のあり方など、とても貴重なご意見でした。実際、最近の広報誌は新鮮味に薄れ、惰性で発行しているかの

ような印象を受けることもあるかもしれません。「御宿台区の動き」面にしても、定住の方には先刻ご承知の内容である場合がほとんどです。しかしながら、別荘利用の方にとっては貴重な情報源になる場合もあるでしょう。

だからと言って、現状の広報誌を正当化するつもりは毛頭ありません。今までの運営委員会による一方通行の情報提供手段ではなく、コミュニティの活性化につながるような媒体への転換を図るべきだと思います。

そのためには、読者の側からの視点によるご意見や、情報提供、記事の投稿などを促進し、地道に方向性をシフトしていきたいというのが個人的な考えです。

ご近所の世間話のなかで広報誌の記事が話題にのぼる、というのが理想の姿ではないでしょうか。

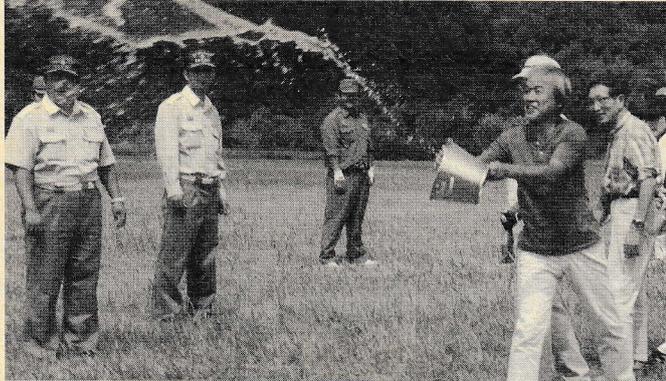
前号で「投稿募集」の記事を掲載しましたが、上記のような意図があることをご理解いただき、引き続き投稿やご意見をお待ち申し上げております。

塩入 健次(109-02)

御宿台区の動き

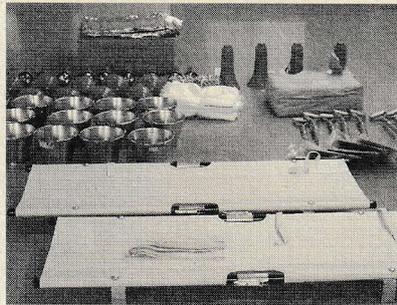
御宿台区自主防災会が発足しました

町内最後の自主防災組織として「御宿台区自主防災会」が8月1日付けで発足し、最初の試みとして9月3日に防災訓練をおこないました。訓練当日は残暑の厳しい中、予想をはるかに上回る200名以上の住民の方々が参加され、三角巾の使用法やバケツリレー、消火器の操作法の実演などに取り組みました。



現状の自主防災会は、規約等を定めたものの組織としての実態がともなっているとは言い難い状況です。今回の防災訓練の反省点を踏まえ、組織の確立と「自主防災計画」の検討を進めてまいります。

なお、自主防災会の発足にともない、町より連絡用トランシーバー、メガホン、ヘルメット、担架、毛布等の災害対策備品が支給され、8月24日に町役場にて交付式がおこなわれました。



町民の手で揚がった華麗な花火

去る8月3日、天候に恵まれた御宿の夜空が美しい花火に彩られました。地方財政の緊縮のため町からの補助が打ち切られ一時開催が危ぶまれていましたが、「おんじゆく花火大会実行委員会」の要請により各区が協力する事になった事をご存知のとおりです。

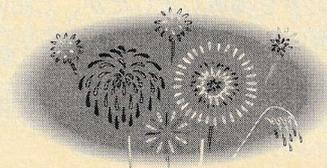
御宿台の皆様、特に別荘をお持ちの方のご協力も含め、初めての町民の手での花火大会が成功いたしました。

今後益々強くなってゆく地域社会の自立の第一歩として特筆すべきことだと思います。

去る8月7日の区長会において実行委員長（観光協会会長）より町民の協力に対して感謝の意が表されました。収支報告については次回の区長会に於いて報告されるということです。

改めて皆様のご協力に対して深く感謝いたします。

御宿台区自治会



お知らせ

地上デジタル放送対応について

テレビ共聴施設の保守点検を依頼している(株)アオスフィールドを招き、地上デジタル放送に対応するための改修案などについて話を伺いました。

区としては結論を急がず、当面は行政や市場の動向を静観する姿勢に変わりはありません。高額な支出が予想される重要課題ですので、慎重な情報収集と、的確な判断に努めます。

FOMAアンテナ設置工事の遅延

当初6月着工とお知らせしておりましたが、NTTドコモの携帯電話（FOMA）アンテナの設置工事は、諸事情により着工が遅れています。現状では、年内の完成を予定しているとのことです。

「御宿台サークルCoCo」からのお知らせ

■自然環境豊かな御宿台は、歴代の運営委員の方々をはじめ住民の皆様のご尽力により、住環境の一層の向上を目指して着実に発展してきました。

一方、ご承知のとおり御宿町の高齢化率は千葉県トップクラス（平成17年4月1日現在、34.3%で第3位）、ここ御宿台では更に約20ポイント程上回っているようです。

また、昨今の社会情勢の下では、高齢者が心身共に健全な生活を維持できる福祉基盤づくりのすべてを行政に依存することには限界があります。

■定住/非定住者が相半ばし、誕生間もないこの地域に、縁あって住まれる新旧住民が気軽に交流し、温かなご近所付き合いが生まれる環境づくりと高齢者支援の一助を主目的とし、「御宿台サークルCoCo」の活動を始めてから今年で3年目を迎えました。

現在、「お食事会」・「外出お手伝い」・「犬の散歩応援」の3分野で積極的な活動を行っていますが、今後も皆様の真のニーズを確かめながら、活動分野の拡充ときめ細やかなサービスに力を注いでまいります。

この活動は参加していただける方々が少なければ目的を果たすことができません。私達ができる範囲での相互扶助によって「いつまでも住み続けたい御宿台」を目指し、その一助になればと願っています。

活動がこの地に定着し、さらに発展するためには比較的に若い方々のご支援とご協力が欠かせません。

このサービスの利用をご希望の方、ご支援をいただける方々の積極的なお申出を支援者一同、心からお待ちしております。

次回から、グループの活動状況をはじめ、いろいろな話題を順次紹介させていただきます。（109-04 井上 昭男）

情報

8月31日現在

御宿台開発状況

売却済分譲地：1,225区画 建築中：17戸

建築戸数：796戸 定住届出：381戸

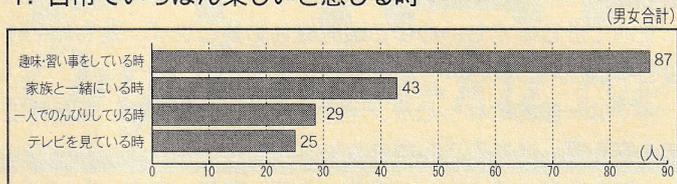
乗合バスの利用

6月/501人 7月/527人 8月/599人

■第二回：趣味・サークル活動編

昭和女子大学による「御宿台西武グリーンタウンにおける居住環境に関する調査」から、今回は趣味やサークル活動などについての調査結果を掲載します。

1. 日常でいちばん楽しいと感じる時



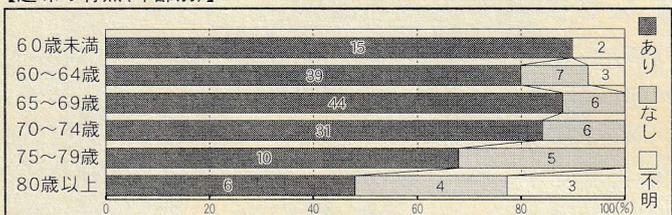
圧倒的に「趣味や習い事をしている時」と回答した方が多い結果となっています。そもそもの定住されたきっかけが、ゴルフ、釣り、家庭菜園などの趣味を楽しむためという方も多いかもしれません。

男女別では、男性が「家族と一緒にいる時」と感じている割合が高いのに対し、女性は「友人と一緒にいる時」「一人でのんびりしている時」と感じている割合が比較的高いという結果が出ています。

2. 趣味について



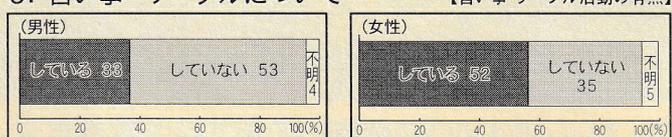
【趣味の有無(年齢別)】



全体では8割の人が趣味を持っているものの、年齢が上がるにつれて趣味がないと回答する割合が増加します。これには、加齢にともない体力、気力の限界を感じてやめたという声も聞かれました。

趣味の内容は、ゴルフ、テニス、フォークダンス、ガーデニング、家庭菜園、囲碁、音楽などが多いようです。

3. 習い事・サークルについて



男性の3割以上、女性の5割以上が何らかの習い事やサークル活動をしています。また、ひとりで複数の習い事をしている人も少なくありません。活動のきっかけとなるのは、「健康のため」「日常生活の充実のため」「熱中できるものが欲しい」「人脈を広げたい」などが上位を占めています。

(昭和女子大学 生活環境学科 竹田研究室 作成資料より)

15年前に御宿台の仕事に携わるようになったある日、無理やり(?) 船に乗せられ御宿の沖へ釣りに行きました。「今日は風だよ」という言葉にだまされ沖の釣り場に着いてみると、大きなうねりで隣の釣船が波のまにまに見えなくなるほどです。当然のごとく船酔いし釣りは全くできず、二度と乗船することはあるまいと思いましたが、しかしもともと川釣り等が好きであった私の中の「釣りの虫」がうずうずし始め、波の少ない東京湾から始めて相模湾へ、そして今では海が美しく魚が美味しい外房・南房専門で船釣りに出かけています。美しい波頭とほんの少しの獲物に出会える私の至福の時です。

御宿台のサークル活動は大変活発ですが、釣りクラブがなかった理由は「釣りは一人でやるもの」だからかも知れません。しかしやってみたくできかけがないという方がかなりいらっしゃるはずと思い、5年程前にご案内したところ、7名ほどの方にご参加いただき釣大会を実施することができました。これがきっかけで「御宿台釣クラブ」を発足させ現在に至っています。

年2～3回船で御宿周辺の海釣りに出かけています。やってみようという方はぜひ

ご一報ください。もちろん未経験者大歓迎です。直近では10月に釣行を予定しています。



連絡先：090-6130-4087 (西武不動産販売/渡辺 純男)

住民懇談会のご案内

7月17日に御宿台集会所において住民懇談会を開催しました。多数の参加者から、さまざまな質問、意見が出され、活発な議論がおこなわれました。お伺いしたご意見は今後の運営委員会での参考にさせていただきます。

また、引き続き第二回の住民懇談会を下記の日程で開催します。前回不参加の方も含め、大勢の皆様の参加をお待ちしています。

第二回 住民懇談会

日時：10月15日(日) 13:30より
場所：御宿台集会所・ホール

最高級そばと地酒の店
そば処
竹むら
☎68-8888
くつろぎの館
創作料理
宗苑
☎68-8887

海
御菓子司
海月堂
製造発売元
御宿町須賀572
☎68-2345

一人前より 出前迅速
うぶき 鶴丸
高山田 高校前通
☎68-4867

ペンション・中華レストラン
チャイナ
出前 承ります!!
☎68-2920
ニクニレ

本
格
手
打
の
店
白
礪
七
上布施
☎68-5220

◆ 自然と花とペットとの生活

御宿台に移り住んで丁度半年が過ぎ友人や仲間が徐々にふえ少しずつ馴れて来た所です。最近では友達も出来て買物に行ったり食事に行ったり温泉巡りをしたりと毎日楽しんでいます。

夕方になると我家の一人娘ミヨ（トイプードル11才）と散歩し自然を満喫しています。以前は散歩から帰ると白犬が黒犬になるほど手足の汚れがひどく後の手入れがとても大変でしたが今では汚れも少ないので手入れも簡単なのでとても助かっています。

友達も家に遊びに来ると開口一番都会と違い空気がきれいでとても美味しいと喜んで次に遊びに来るのを楽しみにして帰宅します。これからは遊びに来た時に案内が出来る様にいろいろな施設を見たり知りたいです。

何よりも花大好きな私にとっては最高の地であります。特に花の種類も多く安いのにビックリしました。これからも友人近隣の方々よろしくお願いします。

(105-08 佐部 育子・ミヨ)

◆ 我が家は談話室

死のちに初めてあれば晩年と呼ばれる日々を

今日も生きている。

(三井修 作)

東京から周囲の反対にも耳を貸さず、御宿台に一人で住み始めてから早十年になる。

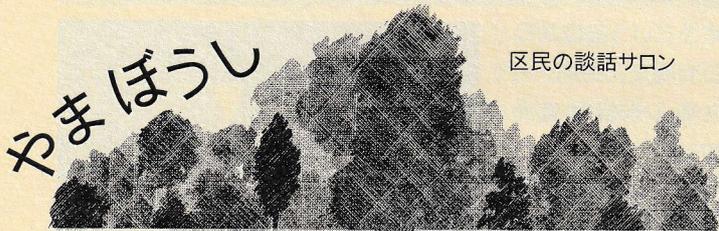
一人で生活するには、少し贅沢かとも考えたが、一年中快適に生活できる冬でもいわゆる暖房機を必要とせず、夏も熱帯夜から解放される家を探した。

今では一般的になったが、当時では珍しい高気密、高断熱工法の家を探し当てることができた。

二階を生活の中心とし、食堂、台所、風呂、寝室、をつくった。特に食堂（居間兼書斎）には大きなテーブルを置き、正月、夏休みに子供たちや来客を迎えられる空間とした。

この部屋も役立つことがあった。一人暮らしの家なら誰にも遠慮せずに、＜御宿台＞について話し合うことができると、連夜遅くまで、長時間にわたり大勢の方が集まることのできたことである。

(419-01 猪俣 増市)



◆ ふれあいLife

夫婦ともに元気で健康に年を重ね、子供や孫たちが遊びに来てくれることを理想に、明るくて静かな海が見える御宿台に住んで6年目を迎えています。

移住を決めた矢先に、夫が突然の病に倒れ、「余命数ヶ月」と医師より伝えられ、楽しみにしていた御宿での生活の希望が一時薄れましたが、3度の手術と1年間の入院生活を経て、この希望の地にやってきました。現在は、夫への介護の毎日ですが、幸せなことに、夫の性格が、どのような時でも温和で、感謝の気持ちをいつでもストレートに表現してくれるので、私には夫のその気持が何よりの救いであり、私のやりきれない気持の落ち込みもセーブ出来るのだと思います。

ふとした切っ掛けで、ご近所の優しさ、暖かさに触れて、住み心地もよく、毎日楽しく過ごしております。これからも皆様に、気軽に頼らせていただきながら、ほんの小さなことでも、少しの楽しみでも見つけながら、限りある人生を明るくこの御宿台で過ごして行ければと願っております。

(339-13 北島 美奈子)

◆ なぜ御宿、私の場合

私共は、御宿に来て4年になります。それまで越谷に30年住んでおりました。当地はやはり団地でしたが、強い雨が長時間降り続くとよく道路が冠水し、いつも水の心配があり、いつか適当な地に移り住みたいと思っていました。定年を控え、老後生活に環境の良いところはないか、テレビの“人生の楽園”を見ながら、できれば少しばかりの菜園を楽しみ、隣近所の煩わしさのない生活を夢見ていました。

そんなとき、新聞で御宿の広告を見て、さっそくパンフレットを取り寄せ、見れば、すばらしい環境と景色が刷り込まれ、しかも一区画が私でも手の届きそうに思われました。台地造成で地盤はしっかりし、洪水の心配はなさそう、そして下水が完備しているのが気に入りました。女房に言わせれば、少し性急な性格の私の決断で、今の御宿の生活が始まりました。

新鮮な魚の味もよし、わずかばかりの庭の菜園の収穫も楽しみです。そして、何よりの私の収穫は、親切なゴルフ仲間ができて、下手の横づけと言われながらもゴルフの腕を上げることに、常にポギーペースで上がれるように目標ができたことです。そして当地はその環境がよいことです。朝は、ウグイスやホトトギスの鳴き声で目覚め、私の一日は朝のラジオ体操で始まり、家の周りの草退治、菜園の管理そしてゴルフ練習へ行って100球から150球の打ち込み、夜は早めの就寝で終わります。

(306-03 貫井 次雄)

編集 後記

先日、読者の方から一本のお電話をいただきました。「町内のある施設がとても素晴らしいので、広報誌で紹介していただけないか」という内容でしたので、ぜひご自身で紹介文をお書きになって投稿してくださいとお願いしましたが、それは遠慮したいとのことでした。

調べてみるとそこは有料の民間施設であ

り、広報担当の立場として紹介記事を書くことには問題があると考え、掲載は見合わせることにしました。

もし、ご自身で紹介記事を投稿していただければ、よほど宣伝色の濃い偏った内容でない限り、掲載することができたことでしょう。

「読者参加型」の広報誌には、皆さんのご協力が必要です。塩入 健次(109-02)

区運営委員会委員 (18年度委員)

唯山 利朗	会長	122-02	68-7168
塩入 健次	広報・記録	109-02	68-2789
岡山 勝敏	環境・衛生	216-11	60-3825
米内山信雄	会計	225-06	68-8305
倉持 和子	環境・衛生	230-04	68-3740
前田 修平	会計	316-09	60-3370
安達 宏之	環境・衛生	318-07	68-5402
月岡 一郎	総務	323-02	60-3844
倉片 好武	総務	419-10	68-7522